

2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3823003	学校図書館概論	小林達也	✓		2	選択	1前期

科目の概要

本科目は学校教育において学校図書館がいかに重要な施設であるかということを知るための科目である。まず、学校図書館はどのような施設でどのような役割があるかを学ぶ。そして、その学校図書館を誰がどのように管理・運営するのか、学校図書館に関わる専門職の職務と役割を、実際に活用できる展示物の制作実習などを通して考える。さらに、学校図書館の学習支援についても、学校司書の役割を授業実践例を通して理解する。
★司書教諭として学校図書館の管理・運営に努めた経験を生かし、学校図書館が学習を支援するためにはどのような学校図書館をつくらばよいか、学校図書館専門職としての基礎的な知識・技能を修得できる講義内容とする。

学修内容	到達目標
① 学校図書館の理念と教育的意義を知る。 ② 学校図書館に関する教育行政の変遷を理解する。 ③ 学校経営において学校図書館の重要性を認識する。 ④ 学校図書館の管理・運営の実際を知る。 ⑤ 学校図書館の施設・設備の実際を知る。 ⑥ 学校図書館専門職の職務分担について考察する。 ⑦ 学校図書館メディアについて知る。 ⑧ 学校図書館の学習支援活動を知る。 ⑨ 学校図書館の相互協力とネットワークについて考察する。 ⑩ 学校図書館のあるべき姿を考察する。	① 学校図書館は学校教育においてどのような設備であるか述べることができる。 ② 学校図書館に関する教育行政の変遷を施策の例を挙げて説明することができる。 ③ 学校組織図の中で学校図書館がどの位置にあるべきか判断することができる。 ④ 学校図書館の管理・運営上参考になる掲示物作りに参加することができる。 ⑤ 実際の学校図書館の施設・設備をみて、良い点を列記することができる。 ⑥ 学校図書館の職務表を見て、学校司書や司書教諭、他の教職員の職務であると判断することができる。 ⑦ 学校図書館メディアの構成について調べることができる。 ⑧ 学校図書館の3つのセンター機能を活用した学習支援を評価することができる。 ⑨ 学校図書館や他の図書館との協力・連携について調べ、評価することができる。 ⑩ 理想的な学校図書館像を示すことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性 授業時、グループで活動するときに進んで取り組み、話し合いや活動をまとめていくことができる。
	働きかけ力
	実行力 実習時や課題が出されたとき、前向きに考え、決められた時間の中で確実にやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力 授業時、ポイントは何かを常に考えながら取り組むことができる。
	計画力
	創造力 意見発表や成果物作成では自信を持って自分らしさを出すことができる。
チームで働く力	発信力 発表時、聞き取りやすい声の大きさ、スピードに気を付け、的確に伝えることができる。
	傾聴力 講義のときやグループディスカッションのとき、相手をよくみて頷くなどの豊かに反応をしながら聞くことができる。
	柔軟性
	状況把握力
	規律性 遅刻、無断欠席せず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力

テキスト及び参考文献

テキスト：使用しない。プリントを適宜配付する。
参考文献：小学校学習指導要領（平成29年告示）解説総則編 東洋館出版社 325円

他科目との関連、資格との関連

他教科との関連：学校図書館に関する科目全て。
関連する資格：学校司書

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> 公共図書館や書店の児童書コーナーにはできるだけ足を運び、レイアウトや児童書についてよく観察をすること。 子どもの本をなるべく多く読むこと。 講義にはスライドを使うので、メモをとること。そのためにも何がポイントであるか、整理する力を付けるように。 	<ul style="list-style-type: none"> 座席は指定とする。 制作実習の材料は、事前に連絡するので、各自で用意すること。 6回以上の欠席は0（放棄）判定とする。 欠席の場合は、理由を必ず届けること。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①	⑥		
			②	⑦		
			③	⑧		
			④	⑨		
			⑤	⑩		
	平常評価	小テスト	30	①	⑥	10点×3回 授業の復習として、以下のような内容を問うので、簡潔に記述して答えること。 ①学校教育における学校図書館の意義と果たすべき役割、教育行政との関わり ②学校図書館の機能と学習支援 ③学校司書の職務と役割 実施する前時に詳しい内容を予告する。
				②	⑦	
				③	⑧	
				④	⑨	
				⑤	⑩	
レポート		0	①	⑥		
			②	⑦		
			③	⑧		
			④	⑨		
			⑤	⑩		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		60	①	⑥	20点×3回 ①ポップ制作。必要な要素が記入されているか。 ②リテラチャー・サークル。グループでの交流の様子がワークシートに記入されているか。 ③リーディングトラッカー制作 使いやすく制作できているか。 実施後のコメント発表やワークシート、成果物から、実習の意図をくみ取っているかを判断する。	
			②	⑦		
			③	⑧		
			④	⑨		
			⑤	⑩		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	⑥	・（主体性） ・グループで活動するときなどに進んで取り組み、まとめていくことができる。 ・（実行力） ・実習時や課題が出されたとき、前向きに考え、決められた時間の中で確実にやり遂げることができる。 ・（課題発見力） ・授業を受けるとき、ポイントは何かを常に考えながら取り組むことができる。 ・（創造力） ・意見発表や成果物作成では自信を持って自分らしきものを出することができる。 ・（発信力） ・発表時、聞き取りやすい声の大きさ、話すスピードに気を付け、的確に伝えることができる。 ・（傾聴力） ・講義のときやグループディスカッションのとき、相手をよくみて頷いたり、メモをとるなどして、反応をしながら聞くことができる。 ・（規律性） ・遅刻・無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出する。	
			②	⑦		
			③	⑧		
			④	⑨		
			⑤	⑩		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀)評価 ① 授業では、予習・復習をしっかりと行ってから受講し、授業で予習・復習をいかした発言ができています。 ② 調査活動では積極的に取り組み、その姿勢が他の活動をリードしている。 ③ グループ活動では、積極的に活動し、グループ全体の学びの向上に貢献している。 ④ 小テストでは問われている内容を把握し、ポイントを押さえて9割以答えることができている。 A(優)評価 ① 授業では、予習・復習をしっかりと行ってから受講する姿勢ができています。 ② 調査活動では積極的に取り組んでいる。 ③ グループ活動では、積極的に発言をしている。 ④ 小テストでは問われている内容を把握し、ポイントを押さえて8割以答えることができている。	B(良)評価 ① 講義中の態度・発言より、予習・復習を行っていることがわかる。 ② 調査活動では担当した役割を果たすことができる。 ③ グループ活動では、自分の考えを発言することができる。 ④ 小テストでは問われている内容を把握し、ポイントを押さえて7割以答えることができる。 C(可)評価 ① しっかりと復習をし、受講した内容を確実に身につけている。 ② 調査活動では担当した役割の内容を理解することができる。 ③ グループ活動では、他の活動を参考にして自分の活動に生かすことができる。 ④ 小テストでは問われている内容を把握し、ポイントを押さえて6割以答えることができている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション これまで自分が体験してきた学校図書館とはどのようなものであったかを振り返る。 今後の学修計画を知る。	講義と学校図書館イメージ図の発表。	学校図書館のイメージ図を描き、発表できる。	(予習) これまでの学校図書館(小・中学校)がどのようなものであったか、2, 3分で発表できるようにまとめておく。	180	主体性 発信力 規律性
2	学校図書館の法と行政の歴史 戦後の学校図書館を巡る法と行政、学校図書館に対する考え方の歴史を振り返る。	講義。	学校図書館とはどのような施設か、学校図書館法に基づいて説明できる。	(予習) 学校図書館法、学校図書館整備5か年計画について調べておくこと。	180	課題発見力 傾聴力 規律性
3	学校の教育課程と学校図書館 学習指導要領における学校図書館の位置付けを学習指導要領の変遷にそって整理する。	講義。	学校図書館が欠かせない施設であることを教育課程という用語を使って説明できる。	(予習) 小学校学習指導要領(平成29年告示)解説総則編P11～P16までを読んで教育課程とはどのようなものか、整理しておくこと。	180	課題発見力 傾聴力 規律性
4	学校図書館の機能・役割 学校図書館には読書センター機能、情報センター機能、学習センター機能の3つの役割があることを学ぶ。	講義と学校図書館機能の調査、発表。	学校図書館には3つのセンター機能があり、それぞれがどのような働きをするか、学校図書館ガイドラインを基に説明できる。	(予習) 文部科学省のホームページで学校図書館ガイドラインを検索し、よく読んでおくこと。	180	主体性 発信力 傾聴力
5	学校図書館担当者の任務と役割 学校司書・司書教諭の任務と役割を理解し、両者のよりよいあり方について理解する。	講義と学校図書館職務についてのグループディスカッション。	学校図書館の仕事をするのは学校司書だけでなく、司書教諭や教員もいることを理解する。	(課題) 学校図書館にはどのような仕事があるか、考えられるかぎり列挙しておくこと。	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力
6	学校図書館の管理・運営 学校図書館の効果的な管理の仕方や学校図書館メディアの内容、構成、収集について学ぶ。	講義と「学校図書館メディア基準」のネット検索。	使いやすい学校図書館の位置や構造について説明できる。	(予習) 全国学校図書館協議会のホームページの「学校図書館メディア基準」にアクセスし、よく読んでおくこと。	180	主体性 実行力 課題発見力
7	学校図書館の管理・運営の実際 図書館の本を紹介する方法の一つ、ポップの制作を通して、ポップにはどのような要素があり、どのようなポップを作ると効果的かを考える。	ポップ制作の実習。 コメントを記入してフィードバックする。	ポップとはどのようなものか説明ができ、ポップを作ることができる。	(予習) どのようなポップがあるかインターネットで調べておくこと。	180	主体性 実行力 創造力 柔軟性 規律性
8	学校図書館の学習活動への支援(1) 学校図書館が読書センターとしてどのような働きをするか、実践事例を通して学ぶ。	講義。	学校図書館の読書センター機能とはどのような働きか説明できる。	(復習) ブックトーク、読書へのアニメーション、ビブリオバトルなどの読書活動はどのようなものかまとめる。	180	課題発見力 傾聴力 状況把握力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	読書指導の実際 読書活動の一方法であるリテラチャー・サークルを援用した役割分担読みの方法を学ぶ。	実習。 役割分担読みを協同学習で行う。話し合った内容を全体でシェアし、口頭でコメントをフィードバックする。	役割分担読みができ、ワークシートに記入することができる。	(予習) リテラチャー・サークルとはどのような読書活動であるか、調べまわしておく。	180	主体性 実行力 傾聴力 柔軟性 規律性
10	学校図書館の学習活動への支援(2) 学校図書館が情報センターとしてどのような働きをするか、実践事例を通して学ぶ。	講義。	学校図書館の情報センター機能とはどのような働きか説明できる。	(復習) 情報活用能力とはどのような力か、授業の内容を振り返ってまとめる。	180	課題発見力 傾聴力
11	学校図書館の学習活動への支援(3) 学校図書館の小学校3年の読書指導の実践事例などを紹介する。	講義。	学校図書館の学習センター機能とはどのような働きか説明できる。	(課題) 公共図書館で学習に活用できそうな図書を選び、どのような授業でどのような場面で活用できるか考える。次時に発表。	180	主体性 実行力 傾聴力 柔軟性
12	学校図書館の連携・協力 学校図書館とその類縁機関との連携・協力のあり方、および学校図書館支援システムについて学ぶ。	講義と学校図書館支援センターのネット検索。	学校図書館支援センターとはどのような機関か説明できる。	(復習) 学校図書館支援センターの必要性について振り返り、どの機関が設置すると学校図書館機能をより生かすことができるか、自分なりの考えを持つ。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力
13	学校図書館と特別支援教育 特別なニーズをもつ子どもへの支援のための環境整備の実態と課題について理解する。	講義。	LLブックとはどのような本か、説明できる。	(予習) 公共図書館からLLブックを借りて、読んでおく。	180	実行力 課題発見力 傾聴力 柔軟性
14	特別なニーズを必要とする子どもへの配慮の実際 文書を読むことが苦手な子のために手軽に学校図書館に備えることができる道具について知る。	リーディングトラッカー制作の実習。 制作物の発表後、口頭でのコメントでフィードバックを行う。	リーディングトラッカーを作ることができる。	(予習) リーディングトラッカーとはどのようなもので、どのように作るか、インターネットなどで情報を収集しておく。	180	主体性 実行力 創造力 規律性
15	学校図書館の将来像 これまでに学んだことをまとめ、理想の学校図書館像を考察する。 また、海外の学校図書館について視野を広める。 これらをふまえてまとめの小テストを行う。	講義、動画視聴のあと、小テスト。 テスト後、口頭によるコメントでフィードバックを行う。	学校図書館が学習を支援するために必要な資源を挙げて、学校に必要な施設であることを説明できる。	(予習) 学校教育の基盤となる学校図書館にはどのような人・物・資料が必要か、これまでの授業を振り返っておくこと。	180	課題発見力 創造力 発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力